

CVIT九州会員の皆様

我が国における肥大型心筋症（HCM）患者は、約 150 万人程度と推察されています。このうち、左室流出路に駆出障害を生じた肥大閉塞型心筋症（HOCM）は、HCM のおよそ 1/3 を占めており、日常臨床で遭遇する機会はそれほどまれではありません。

有症状の HOCM に対する Septal Reduction Therapy は、薬物療法の次に重要な標準的治療とされています。特に経皮的心室中隔心筋焼灼術（PTSMA）は、技術的な難易度はそれほど高くなく、手順通りに行えば安全であり、治療効果のエビデンスも豊富です。しかし、PTSMA 適応であっても経過観察が選択されたり、有効性が不確実なはずのペースメーカー治療を優先されていたりすることも耳にします。

さて、この度、2019年9月14日（金）北九州市の AIM ビルにおきまして、九州地区で PTSMA を積極的に行っている施設を中心として、この治療法を広く議論し普及させるための、PTSMA 研究会を開催させていただくこととなりました。PTSMA の TIPS を共有し、特にこれから始めたい施設にも有益な情報をもたらすことができると信じております。

ご興味のある先生方の参加を期待しております。

研究会発起人

北九州市立八幡病院	循環器内科	原田 敬
小倉記念病院	循環器内科	白井 伸一
福岡市民病院	循環器内科	弘永 潔

【プログラム内容】

PTSMA 道場 in 第 27 回 CVIT 九州・沖縄地方会

2018/9/14 10 時～12 時 15 分 第 3 会場

I 部 パネルディスカッション 俺流 PTSMA 座長 弘永 潔、貞松 研二
1) 済生会熊本総合病院流 (10 分) 坂本 知浩
2) 小倉記念病院流 (10 分) 川口 朋宏
3) 北九州市立八幡病院流 (10 分) 原田 敬
ディスカッション (round 形式) (35 分)

II 部 座長 白井 伸一、坂本 知浩 コメンテーター 原田 敬
ショートレクチャー (20 分)
心筋コントラストエコー 小倉記念病院 磯谷 彰宏

症例検討 (発表 10 分、質疑応答 5 分)

- 1) 「はじめての PTSMA! 2 年の経過を添えて」
国立病院機構嬉野医療センター 山元 芙美
- 2) 「中隔心筋の炙り～スレンダー風」
聖マリア病院 深水友梨恵
- 3) 「タイトル未定」
久留米大学病院 板家 直樹